

# 令和5年7月豪雨に対する河川整備の効果

5か年加速化対策等  
2級河川 新川

○新川水系新川では、平成5年8月及び9月、平成7年8月、平成15年7月等の浸水被害が発生しました。

【平成5年8月出水：浸水面積53ha，床上浸水220戸，床下浸水1,159戸】

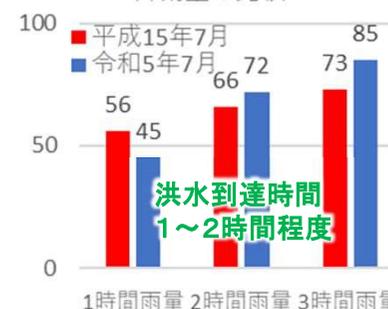
○これらの浸水被害を踏まえ、平成7年度から平成21年度にかけて国道新川橋から徳重橋の区間で床上浸水対策特別緊急事業を実施しました。

○また、広域河川改修事業や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により、河道掘削や西之谷ダム等の整備等を実施し、令和5年7月の豪雨では浸水被害が発生した平成15年と同程度の降雨に対して、溢水ことなく安全に流下させることができました。



## ①平成15年の浸水被害との比較

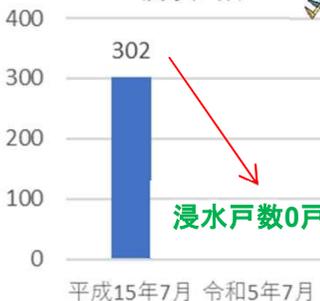
(観測局：鹿児島地方気象台)  
降雨量の比較



洪水到達時間  
1～2時間程度

大きな効果りば～

浸水戸数



## ②今回の出水における水位

西之谷ダムの状況写真

ダム堤体上流状況

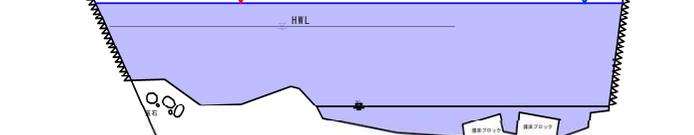


ダム堤体下流状況



田上橋(水位観測局)地点 4/550地点

ピーク時にダムにより約60cmの水位低下



下流区間の河川改修とダムの整備により、治水効果を発揮

ピーク時にダム地点で約50m³/sカット